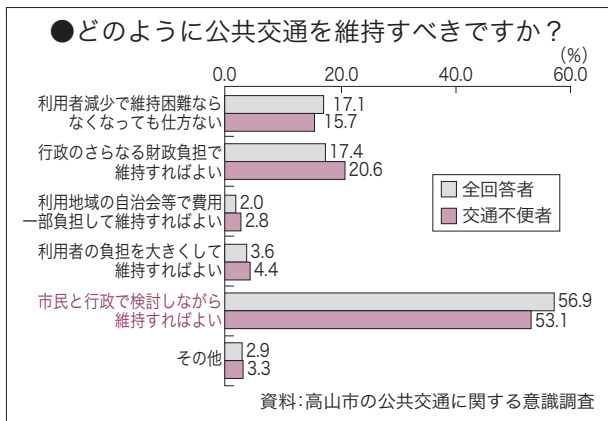
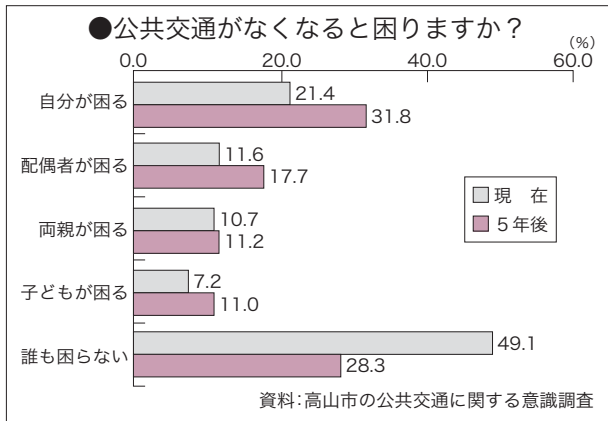
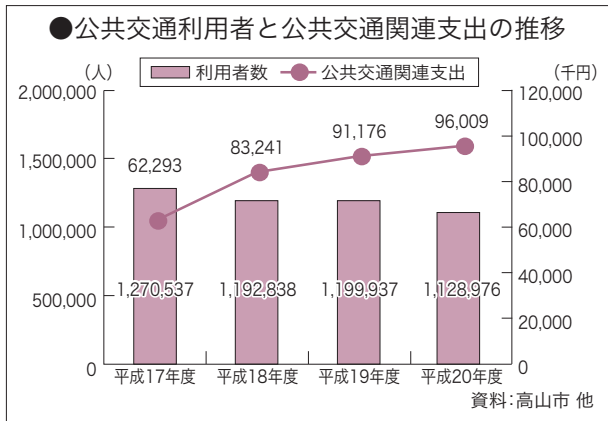
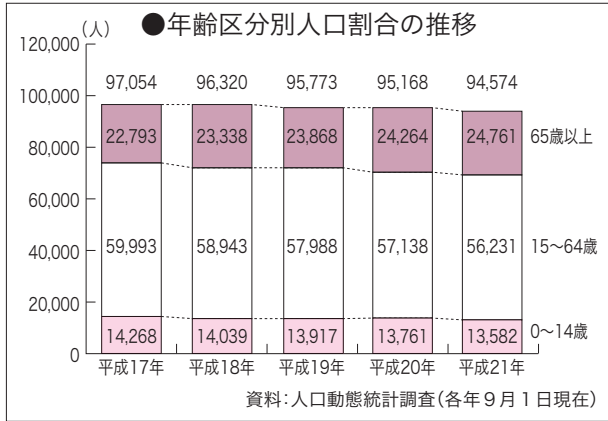


# 未来へのギアチェンジ。 みんなで支える公共交通



公共交通の在り方については、市民が参画してのグループワークも行われ協議を重ねてきました

問合先  
35-3524  
地域政策課

## 自家用車に依存した 生活スタイル

高山市における公共交通の利用者は、市民の約4%で、市民のみさんの多くが自家用車に大きく依存しているのが実態です。

意識調査によると8割以上の市民が1カ月間で1度も公共交通を利用しておらず自家用車に依存した生活スタイルが主流となっていますが、65歳以上の割合を示す高齢化率は全国平均より高く、こうした傾向はこれからも続くと思われ、高齢者の増加とともに「移動制約者」の増加が予測され、公共交

## 将来的に必要性増す 公共交通

通の必要性はますます高まってくるものと考えられます。

意識調査では、公共交通の将来について、現状では市民の約半数が「誰も困らない」と回答しています。しかし、5年後はどうかとなると「困らない」と回答する割合が大きく減少し、将来の公共交通の必要性を重く考えている市民のみさんが多いことがうかがえます。また、将来的に公共交通がなくなると困ると考え、市民と行政の協働で公共交通を維持することを望

## 公共交通を 維持するために

む声も多くを占めています。

公共交通を将来的に維持していくためには、利用する地域が自分たちの財産として考え、積極的に利用し、支えていくことが必要です。まずは地域の公共交通の現状を知り、その必要性をご理解いただき、利用者を増やすことが、公共交通を持続させることにつながります。また、環境保全の面からも普段は自動車通勤の方もぜひ公共交通を利用しましょう。